（大正八年三月七日第三種郵便物認可）　昭和六年八月十五日　THE IWAKIJIHO　（土曜日）　第五千二百六十三號　（一）

十四日夕刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷　福島縣石城郡平町紺屋町十四　印刷所　加納活版所
發行所　福島縣石城郡平町紺屋町十四　磐城時報社
一部金武錢　一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五拾錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

漸やく濃厚になつた 石城の縣議戰氣分

政友、民政相前後して 候補者詮衡の協議

縣會議員の改選期も目睫の間に迫つて來たので石城地方も選擧に各派とも近く豫選會を開き正式に候補者を決定する筈である。氣分愈々濃厚になつて來たが、民政黨では既報の如く幹部會を開いて驚、若松兩縣會議員の再起を促がし、新たに萩原義雄氏を推すといふ意見が多かつたが時より平町マルトモビルで臨時追つて更に熟議する事として散講演會を開くが、演題左の如くである

▲町村制の運用福島縣屬兒山一▲自治行政の特質同事務官船尾元吉

會した。尚ほ野崎滿藏氏を中心とする一派では十三日夜平町南町倶樂部に協議會を開き驚、若松、野崎三縣會議員を再び候補者に推す事を申し合はせ、政友派でも十三日午後一時から大村屋旅館で幹部會を開き協議の結果鈴木、古川、山崎の三縣會議員を推す事、三氏のうち出馬し難き事情ある時は最高幹部に一任する事を申し合せ散會したが事が出張した。

十三日會 臨時講演會

鈴木辰三郎、若松美三、野崎滿藏、井上茂作、大和田儀平の各氏である。

寺の庭から 爆藥發見

石城郡草野村大字下神谷來向寺守番が發見四倉署に届け出でたので目下の初秋鶯は早きは四眠起き遲

在鄉軍人 武道大會

石城郡在鄉軍人聯合分會主催の第四回武道大會は來る九月六日午前八時から平町平商業學校々庭に雨天の際は講堂で開催することになつた、種目は銃劍、軍刀術、射撃の三種で大會優勝者は明治神宮出場の福島支部大會豫選出場權を得ることが出來るので例年通り興味ある演武が豫想されてゐる。

四倉築港問題に關する 公平な批判演說會

今夜海盛座に開く

石城郡四倉町に於ける築港寄附金問題は町民の大多數が町當局の決議に反對し紛亂を極めてゐる事既報の如くであるが、之に關して擧げたので政男は熊吉を相手取り告訴の手續中である。

飮食店主 通行人に亂暴

平町二丁目飮食店第一新ばし屋事佐々木熊吉は十三日夜拘酌婦が表を通りかゝつた飯野村大字下荒川字砂田原野政男（二二）の袖を曳いたので政男は扇の先で酌婦を叩いたのを見てゐた熊吉は戸外に飛び出し政男を毆打したので政男は熊吉を相手取り告訴の手續中である。

嫁に同情し 新婚夫婦家出 樽太に行く途中捕はる

十四日午前三時頃平驛待合室にて新婚夫婦らしい男女の擧動が不審なので驛前派出所荒川巡査が取調べた處男は富岡町大字面町吉十郎長男阿久津勇雄、（二二）女は內縁の妻ユメ（二一）で最近親の許を得て結婚したが嫁と姑の仲が惡く虐待に堪え兼ね夫婦相談の上樽太豊原郡の三井川上炭礦の知人を賴つて行く途中准急列車を待つてゐる事判明し一先づ親元に引渡した。

湯本水道工事 貯水池の交渉

湯本町水道委員は石城郡好間村の水源池から同町に至る水路敷地の買收借入れ交渉につき十二日磐城炭礦に出頭菅原所長、小蔦庶務課長等と會見折衝した處問題の中心点である高坂グラウンド附近への貯水池設置は炭礦掘進に將來相當の危惧あるもの

窃盜犯人を連捕し 磐炭社員表彰さる

石城郡內鄉村磐城炭礦勞務課伊藤吉三郎、同炭礦坑夫朝鮮人太田聖一の兩名は去る六月二十日午後七時頃內鄉村大字難波正方に押し入つた窃盜犯前科三犯佐藤伴司（二五）を逮捕したので十三日付川崎知事から表彰された

四倉方面に 空巢ねらひ跋扈

四倉署で犯人嚴探中

石城郡大浦村大字上仁井田字前原九番地荒川運太郎留守宅に十二日午前中賊忍び入り箪笥の鍵を破つて百五十圓記入郵便貯金通帳及び現金を窃取した犯人が金三圓余を窃取した犯人があるので四倉署で犯人捜索中である

▲石城秋蠶況

石城郡

▲雜貨商盜難

石城郡內鄉村大字宮玩具商泉海助方に

江名の泥棒

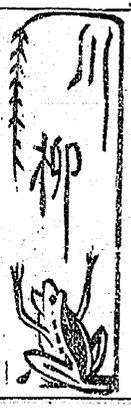
十三日午前三時四十分頃石城郡江名町大字南町三ノ九雜貨商坂本又十郎裏手の雨戸を外して賊忍び入り家人の熟睡中店の帳場內にあつた價格三十余圓の黑塗手提庫と現金二十圓余圓を窃取逃走したを夜明けて氣がつき平署に届出同署齋藤司法主任、警部補、中島刑事部長その他格刑事出張犯人嚴探中であるが、近頃同署管內には現金專門の窃盜事件頻出するが手口より見て同一人の所爲らしく平署では各署に照會し探査の馬力をかけてゐる。

平町人事

▲出生　研町一八弟子丸信夫三男邦夫
▲婚姻　舊城跡當時東京市南葛飾郡隔田町中井信夫（二六）玉川村大字島小泉ハナ（二三）

昨今の暑さで 海水浴場賑はふ

石城七濱地方は昨今漸く本格的夏氣分となり連日の炎暑に平町は勿論近鄉の老若男女連は海へ海へと吸ひ寄せられ各炭礦の團体なども通出し四倉、小名濱の如きは身動きも出來ぬ程の每日の人出である、隨分永い間雨にとぢ込められた各濱海水浴場でばこの好チャンスに一度に景氣を盛返すつもりで避暑客吸收にサービス百パーセントの營業振りを示してゐる、舊盆も近づいたのでこれからは續く暑さに避暑客が日增しに增加するばかりであらう、土用浪の崩るゝ渚に脚線美の跳躍？夏の太陽の下に惜げもなく散るエログロとの交叉する夏の海ではある。



（六七）川柳反古籠　同人吟

腹立つたやうにまけてく初松魚　文狂

大臣になつて舊師の居所が知れまだ寢ないのは料理屋ばかりなり　一角

蛙釣ることも覺ゆる出養生　東天紅

お互に忘れませうと泣きくづれ灰色にペンキの光る安譜請　東天紅

孤兒或夜母が生きてる夢を見るませた口處女祟拜を可笑しがり　文化

熱甍の高い〳〵家子澤山子の名を呼ぶに手間が取れ失戀へ親友だけは力づけ　雜吟社中共選

平町　薄葉二光

低腦にしてはど偉い事をやり

酷暑のサロン

樽詰**生ビール**を召せ

カップ一杯十五錢

そして醉つたあとに

冷めたい**アイスクリーム**

も御座います　**一皿十五錢**

田町　**サロン**

電話三五二番

開業廣告

私儀今般五月五日より左記箇所に醫院を開業耳鼻咽喉科診療に從事可致候間將來何分の御後援に預り度く御挨拶旁々御願ひ申上候　敬白

診療科目

耳、鼻、咽喉科

氣管、食道科　專門

平町字南町一（元眞木辯護士跡）

增田耳鼻咽喉科醫院

日本醫學士　增田之

東京——四倉間

定期貨物運輸

途中　土浦、石岡、水戸、助川、高萩、平停車

平荷扱所　八……研町八番地

（平）電話二六一番へ

上澤

早川　**合同運輸**

電話（四倉）三七番

斷然賞讃を博しつゝある

實用白毛染　**八雲**（ヤクモ）　一瓶二五錢

一手販賣店　**山野邊藥局**

◎レコード破りの石炭大特賣

磐城炭礦二等炭

正味十貫匁一俵金卅錢也

◎「品が良く」「値は安く」をモットーとする當店は此度超破格の格安石炭を販賣開始致します

◎値が安くとも品は惡くはありません

◎磐城炭礦の處分的大堀出物です、品物の無くならない中に御注文下さい

◎配達は一俵より致します

御注文は

電話三三七番へ

平停車場前

阿部石炭商店

肩凝 神經痛 入用 入浴 呼吸器

酸素吸入器

開業醫院藥局

電話四〇番

家傳秘法 腫物湯

のんで効く　はれ物の妙藥

主一面疔よう乳の腫れ指のはれ林巴腺の腫れ耳鼻のおでき骨膜炎筋炎はれ物手術の前後效一等よし

◎特にかほのおでき、乳のはれは切らずに治り醜き痕を殘さず美容上最適の治療劑なり

定價　五十錢　七十錢　一圓十錢　一圓五十錢

特約店

平町四丁目　小野藥店　四ツ倉町　荒川藥店

平町三丁目　宇佐美藥店　植田町　松本藥店

湯本町　岩瀨屋藥店　富岡町　莊野藥店

腫物湯　肋膜湯　製劑所　茨城縣下孫　磯野健生堂

共榮共栄 大滿大吉 磐城無盡

平町 金融 簡便 迅速 親切 確實

內科 專門 婦人病 淋病 十二指腸蟲病 皮膚病 專門 胃腸 花柳病

松村醫院　平町南町（電話一〇七）

印刷所 二葉

平町仲町・電話一九番

夏ハあせも、たゞれト吹出物ニオ行水テ

冬ハ温浴テ冷エ込ミヨリ來ル諸病ニ

浴精 バスエマ

使用量　洗顏數滴　行水五瓦　風呂十瓦

定價　試用二十五瓦入　貳拾錢　小瓶二百瓦入　壹圓　大瓶七百瓦入　參圓（送料十二錢）

東京市麻布區山元町十三番地

特約店募集　**小林商會**

振替東京五一五〇五番

この夏は!!

ぞりこの黨よ?

健康!!!　衛生!!!　保健!!!　の爲め

美味しい冷たい　飲み物を

夏の味覺は美味しい

ぞりこの

アイス　氷

オレンヂアイス　水

アイスコーヒー

ブドー酒

ビール

大日本雄辯會講談社代理部

ぞりこの黨　地方部長

丸昌軒食堂

平・電四三九番

丸昌軒第二支店

四ツ倉町仲町

丸昌軒第一支店

平四丁目川岸通り